

文化・芸術



「From Kiryu#35」

2024年、インクジェットプリント
516・0cm×252・0cm

石内 都 (1947年)

企画展「石内都
STEP THROUGH TIME」から

《名画の扉》

石内都の近作「From Kiryu」配線の絡まり、かつては、石内が桐生に転居あつた色彩が消え失せした2018年から撮った店先、枯れたツタがりためてきたシリーズ壁にはう蔵の裏など、です。本展では、大川過去か未来かが、大川美術館の4層からなる美術館の壁に静止して展示室の各所に、自選います。この壁に対する「From Kiryu」を、高精度の鑑賞者は、壁の向こうにも流れる時間の存在を想像することがあるかもしれません。

トにより大きく引きのるかもれません。

ばした「壁写真」とし 石内は、本シリーズて展示しています。展 場について「時間がすむ示室を進むごとに立ち 場所、たまっているとい現れる桐生の街は、虚 ころ」への関心を語り実が交錯する時間に遭 ます。桐生の街と自身遇するようでもありま との関係性を探り続けるまなざしが感じられます。

コンクリート造りのも ます。(小此木)